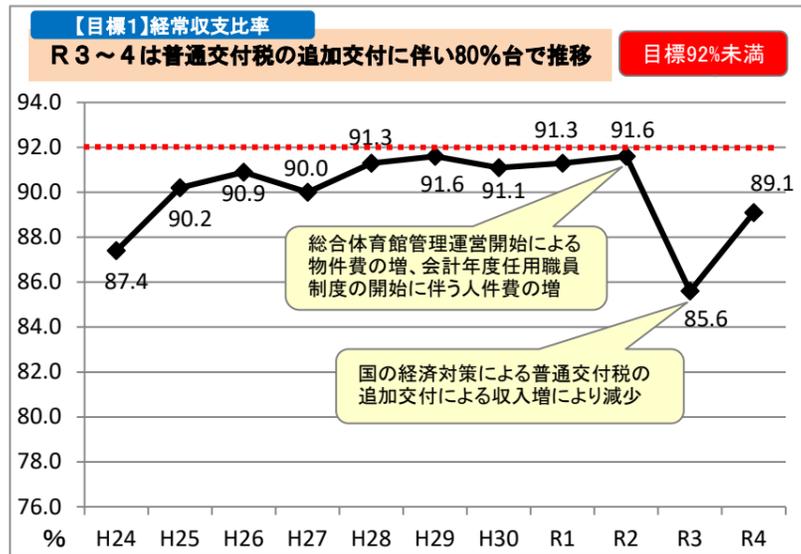


各種財政指標等の推移【令和4年度決算】

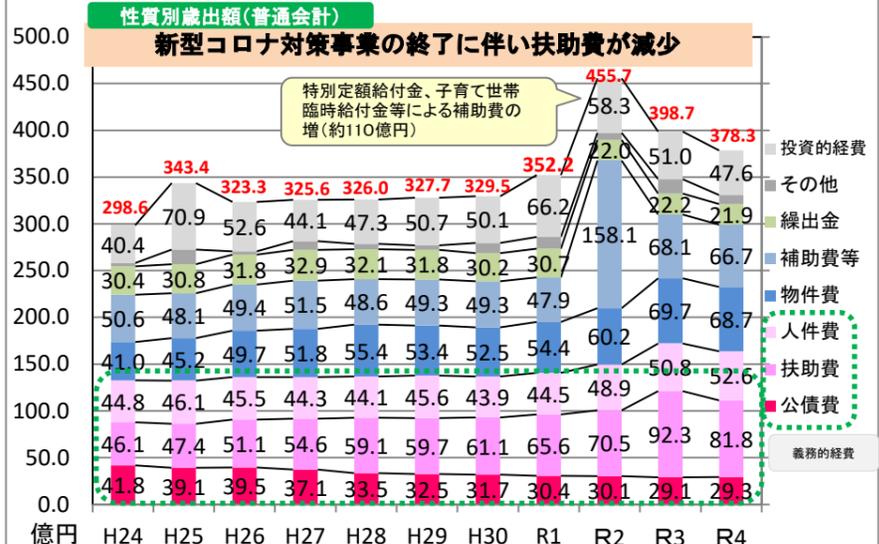
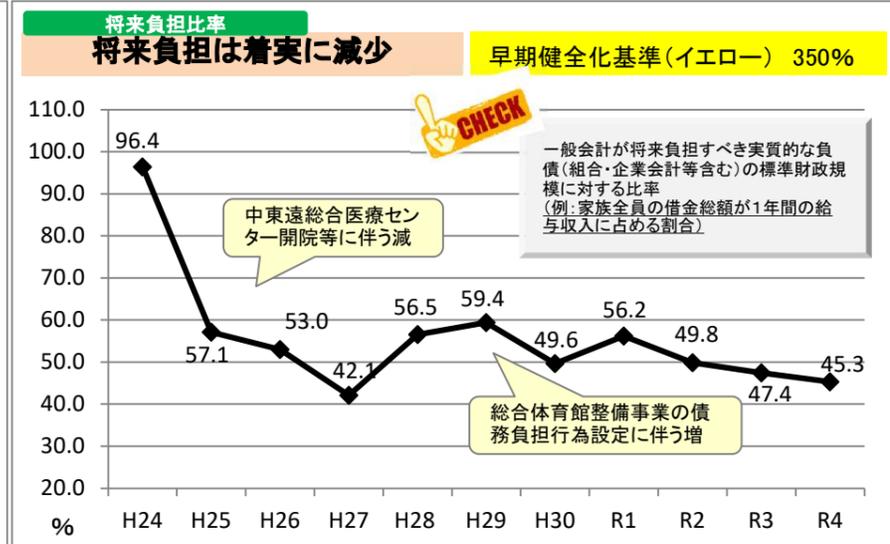
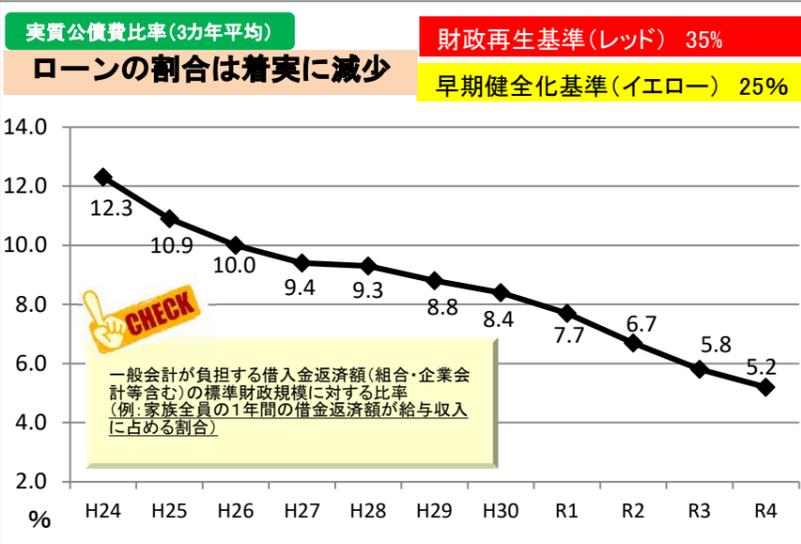
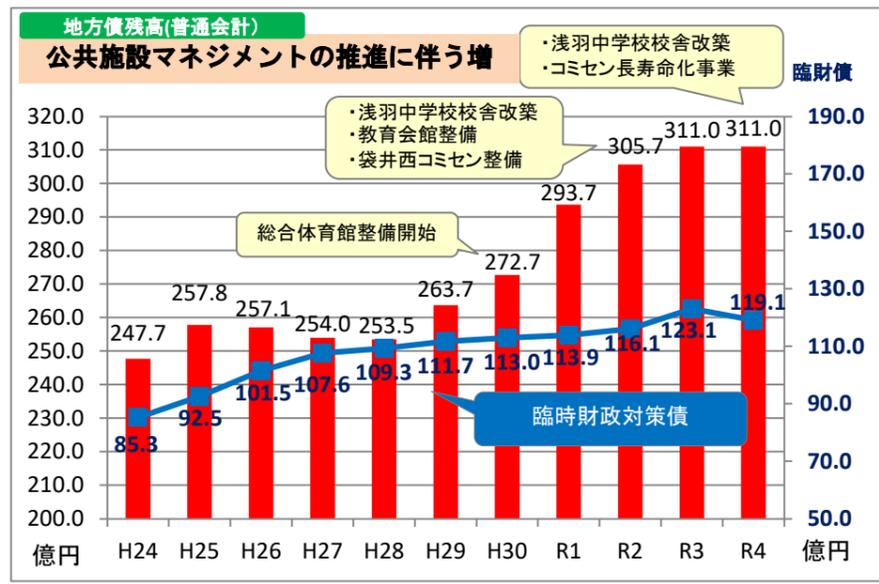
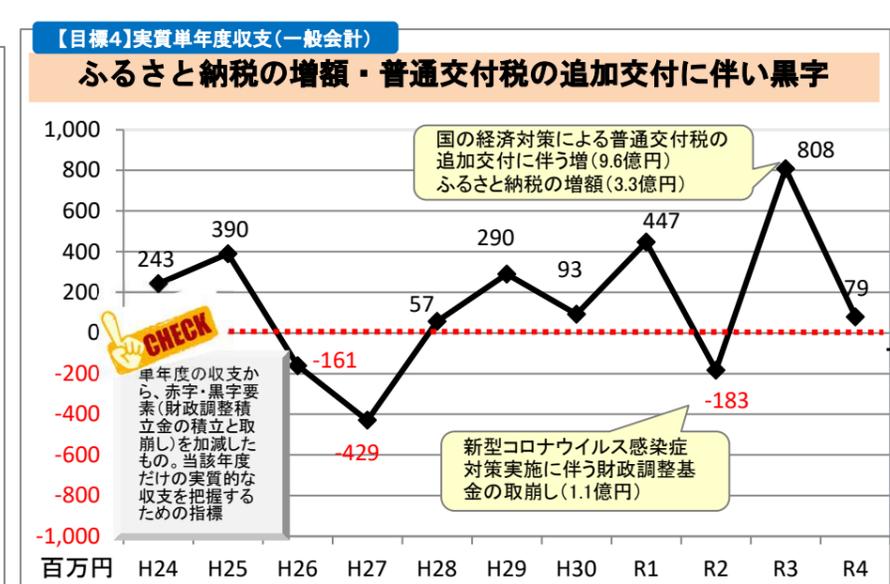
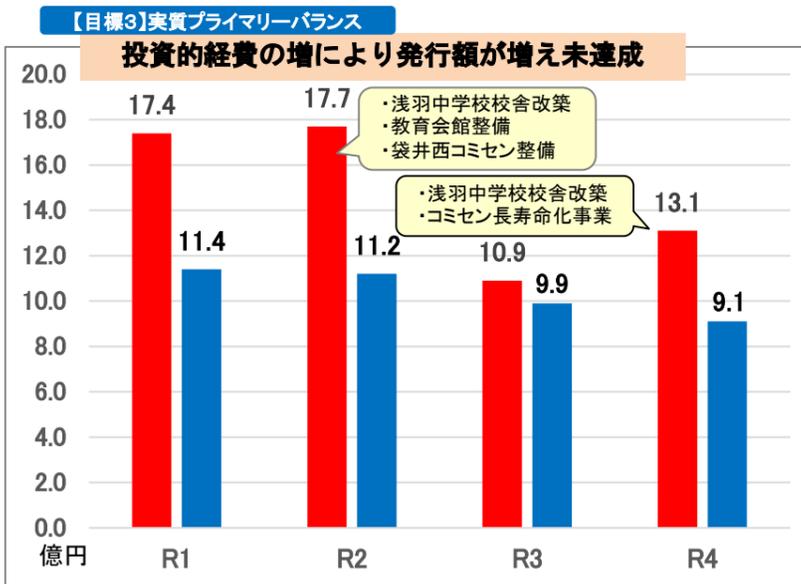
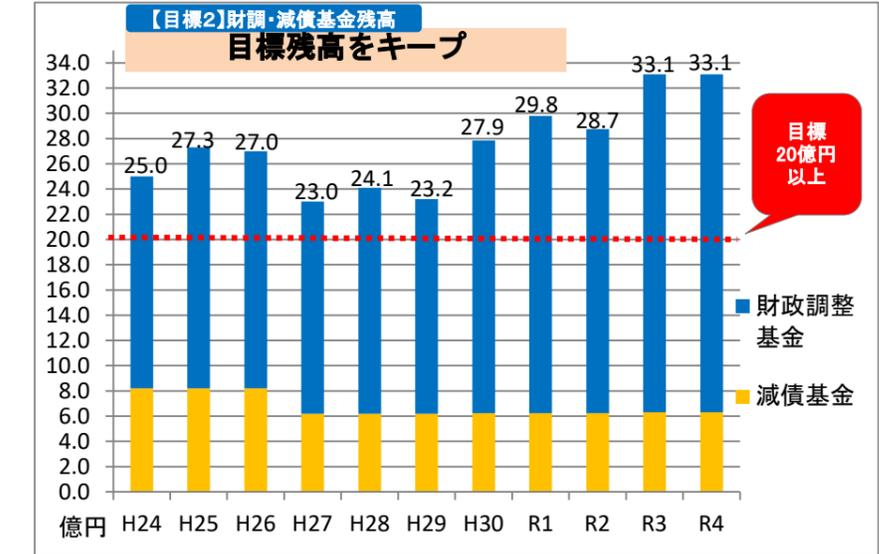


健全財政確保のための目標

- 目標1 経常収支比率は92%未満とする。
- 目標2 基金残高(財政調整基金+減債基金)は、20億円以上とする。
- 目標3 実質的なプライマリーバランスを維持する。
- 目標4 実質単年度収支を2年連続で赤字にしない。

<R4決算の特徴点>

- ◇経常収支比率については、R3～4は普通交付税の追加交付に伴い80%台で推移。臨時財政対策債の減(△1,016百万円)により、経常的な収入が減少したことに伴い前年比3.5%増となった。
- ◇基金残高(財政調整基金+減債基金)の残高はふるさと納税の増額による自主財源の確保、市税や地方消費税交付金などの収入増などにより、目標残高(20億円)を維持している。
- ◇決算フレームは、R3子育て世帯への臨時特別給付金(児童1人あたり10万円)や民間認定こども園建設費補助事業(袋井南認定こども園施設整備費補助金)などの完了により、大きく減少した。(約5.1%減)



※普通会計・・・「一般会計」と「公営事業会計(国民健康保険特別会計、公共下水道事業会計など)を除く特別会計」を合算したもので、袋井市では、H27年度までは土地取得特別会計、H27年度以降は墓地事業特別会計が該当する。